

「良い結果返ってくる」

アマ横綱 母校の中野小で講演

平戸

昨年(2012年)の全日本相撲選手権で、3年ぶり2度目のアマチュア横綱に輝いた県立猶興館高教諭の松永六十四さん(26)が18日、母校の平戸市立中野小(中村新一校長、76人)を訪れ、努力の大切さについて講演した。子どもたちは松永さんの胸を借りて相撲に挑戦。大技が繰り出されるたび、歓声を上げた。松永さんは小学3年から相撲を始め、1997年度

に同小を卒業。猶興館高や日本体育大で活躍し、2008年度、猶興館高非常勤講師として出場した同選手権で初優勝。教職員採用試験に合格し、10年度からは猶興館高に体育教諭として勤務している。

松永さんは講演で「小学生の頃は相撲がとても弱く、1、2回戦で負けて泣いてばかりだった」と告白。その上で「次は少しでも

母校の児童と相撲をとるアマチュア横綱の松永さん(中央)
=平戸市中野大久保町、市立中野小



県北
対馬
吉岐
五島
佐世保近郊

福岡県文井町の鍾乳洞「書前窟」を発見したこともある

多く勝つ」と練習を重ね、こうして全国優勝することができた。皆さんも夢に向かい、一生懸命に頑張ってください、良い結果が返ってくる」と激励した。

その後、子どもたちは東に

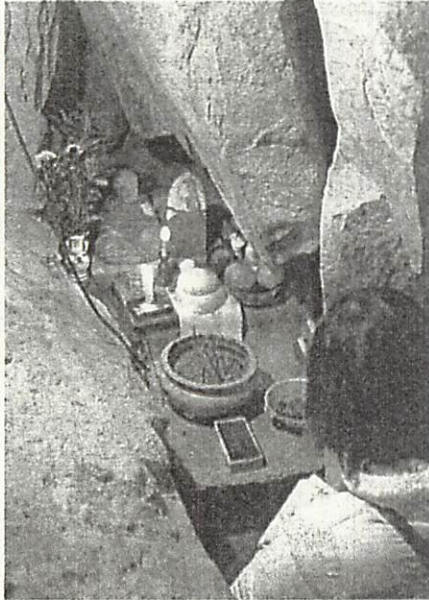
まとめ持ち上げるなど、鍛え上げた力を披露した。同小6年の須本航輝君(12)は「松永さんのおなかはクツションみたいだったけど、体は押ししてもビクともしなかった。サッカーがうまくなるよう、練習をこつこつと頑張っていきたい」と話した。(緒方秀一郎)

洞窟の中 平穏祈る

新上五島 岩家観音で大縁日祭

洞窟内に石像が安置され、地元住民らの信仰を集めている岩家観音の大縁日祭が17、18の両日、新上五島町青方郷の観音岳一帯であり、多くの参拝者でにぎわった。

上五島町郷土誌によると約700年前、観音岳山頂付近に奇妙な光が毎晩のように現れ、村人が不安を感じていたところ、3日連続で地元僧侶の夢枕に観音様が立ち、「吾(われ)をその光明の現れたる地に勧請(かんじょう)せよ」と告げた。その僧侶が



洞窟の中で手を合わせ願いを込める参拝者

新上五島町、観音岳

力商品アイの売上9581対馬など

振興会へアサヒビール

アサヒビール(東京)は17日、絶滅が危惧されている本県固有の対馬(たいしゅうば)の生息環境保全に役立ててもらおうと、主

対州馬の生息環境 保全へ439万円寄付

振興会へアサヒビール

アサヒビール(東京)は17日、絶滅が危惧されている本県固有の対馬(たいしゅうば)の生息環境保全に役立ててもらおうと、主

山頂付近に鍾乳洞が、それ以来、平穏な日々が続く。

大縁日祭はた日が旧暦のことになみ伝えられてお岩家観音会が毎年主催

この日は、年寄りや家庭を訪れ、お堂をつた狭い洞窟観音像に手息災や商売繁受願合格など。

平戸支局 (0995)022-2667
江迎支局 (0995)665-2276
上五島支局 (0995)422-0324
吉岐支局 (0995)047-0106

松浦支局 (095)67
五島支局 (095)97
対馬支局 (0995)05

亡した方 英雄の相対地として 発見した1788年1月26日を

妹